



巻頭言

放射線診断科 診療科長 /

せい のりたか
清野 哲孝

春の暖かさが感じられる頃となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。2025年4月1日から放射線診断科の診療科長に着任しました清野 哲孝と申します。2014年の当院開院時から診療科長を務めた前任の長谷川 真教授から今回診療科長を引き継ぐことになりました。どうぞお見知りおきください。



私の専門はIVR（画像を利用した、動注、塞栓、ドレナージなどの治療および組織生検）です。あまり馴染みがないと思われるが、低侵襲で非常に役に立つ治療法の一つです。X線画像、超音波画像、CT画像、MRI画像などの画像下に体の中に針を刺し、検査のために病気の組織を採取したり、体の中にできた膿を排出したり、血管を介して挿入した細い管からの金属コイルや液体塞栓物質にて外傷や腫瘍からの出血を止めたり、腫瘍の栄養血管や血管の瘤を閉塞させたり、血管の詰まった部分や狭い部分をバルーンにて広げたりします。2022年9月1日から保険適用となったRFA（小径腎悪性腫瘍のラジオ波焼灼）も泌尿器科とタイアップしています。

当院放射線診断科は、内科系診療センターに属しており、常勤の放射線科診断専門医3名、放射線科専攻医2名、非常勤の放射線科診断専門医2名、核医学診断専門医1名、研修医ローテートで診療を行っています。日常業務として、①依頼検査内容に最適化した撮影法、撮像法の指示、確認、②当院で行われるすべてのCT、MRI検査、核医学検査、検診マンモグラフィー、検診上部消化管造影、依頼を受けた一部単純X線撮影の読影報告書作成、③緊急、重要所見を確認した際、主治医への連絡、④他院から依頼を受けたCT、MRI検査予約、指示、当日の患者説明、カルテ記載、報告書作成、画像出力、⑤各科から依頼される他院画像の読影コンサルタント、カルテ記載、⑥IVR、⑦検査室で発生した有害事象の初期対応、⑧研修医指導、⑨学生指導などを行っています。

主業務となる報告書作成の読影診断管理加算2の算定には、翌診療日までに、8割以上の読影報告書を作成する条件下で、すべての検査に読影報告書を作成する必要があり、日曜、祝日も診療日である当院では、他院とは異なる忙しさがあります。開院以来、検査数は増加しており、現在では月に約2,900件の報告書作成をしています。昨年報告書作成の実績は、CT20,265件、MRI10,004件、核医学425件、IVR103件、単純撮影読影232件、マンモグラフィー1,977件、上部消化管造影1,356件でした。画像検査、治療、診断の依頼を受けた診療各科、近隣医療機関に有益な画像情報、医療を迅速に提供することに心がけ、日々の診療にあたっています。画像検査、IVRの適応、選択などに関する質問には随時対応していますので、気軽に相談していただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。



第132号のトピックス

- 巻頭言（放射線診断科）
- 江東豊洲病院事務長に就任して
- 収穫体験のお礼のイラストをいただきました
- 関東ブロックDMAT訓練に参加しました
- 病院名変更のお知らせ
- ご意見・ご要望
- 編集後記



2024年11月1日より事務長として着任いたしました青木 和人（あおき かずと）と申します。10月までは、昭和大学歯科病院にて勤務していました。私は昭和大学に2002年の4月入職であり、現病院の前身である昭和大学附属豊洲病院が最初の配属部署でした。当時の豊洲地区は、再開発によって生活利便性が改善され、居住者や利用者が増えて活気ある街へと変貌を遂げる途中でした。豊洲駅（東京メトロ有楽町線）は、東京ビッグサイト（東京国際展示場）でイベントの開催日のみ混雑となり、今のように朝夕の時間帯の混雑はありませんでした。ゆりかもめ（東京臨海新交通臨海線）も開通されておらず、豊洲センタービルはありましたが、商業施設の「アーバンドック ららぽーと豊洲」をはじめとしたショッピングセンターはなく、「江東区豊洲文化センター」はありましたが、「チームラボプラネッツ TOKYO DMM.com 豊洲・東京」や「IH ステージアROUND東京」など観光スポットになるような施設はなく、「豊洲市場」も移転されていませんでした。このように現在も街の景観が日々変化するほど、急速に発展を続けていることから月日の流れを感じ、昭和医科大学江東豊洲病院で事務長を勤めさせていただくことを心より嬉しく感じ、とても感慨深いものです。

さて、昭和大学江東豊洲病院は2014年3月24日に診療を開始し、今年は12年目を迎えました。江東区の人口は今後も増加傾向にあり、2029年時の将来人口推計では57万人を超えることが見込まれています。また、2030年代半ばには地下鉄8号線（東京メトロ有楽町線）の延伸（豊洲～住吉間）の開業が見込まれ、豊洲二・三丁目地区の大規模再開発などさらに発展を続ける豊洲地域の中核病院として、近隣地域の期待に答えられるよう、高度で質の高い医療の提供に積極的に取り組んでいきます。

地域の中核病院として地域住民の皆様や地域の医療機関の皆様に愛され、頼られる病院として「地域医療連携の強化」と「地域交流の推進」を病院目標に掲げています。この目標達成のために横山病院長を中心としたチームワークの良い病院として患者さんの立場にたった医療を実践し、満足度の高い病院となることを目指します。また、責任の重大さに身の引き締まる思いで一杯ですが、今後もこれまでと同様、皆様にご協力いただきながら、病院運営には迅速、適切、柔軟に取り組む所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

Report

収穫体験のお礼のイラストをいただきました

昨年12月20日（金）に当院の中庭でぼんかん、はっさくの収穫体験を行いました江東区立豊洲西小学校の1年生より、お礼のイラストをいただきました。

今後もこのような体験を通じて地域との交流を深めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



関東ブロック DMAT 訓練に参加しました

DMAT 隊員（看護師） / きはら ようこ
木原 陽子

2月28日に令和6年度関東ブロックDMAT訓練に隊員4名（救急診療科・佐々木医師、救急病棟・平山看護師、救急外来・木原看護師、管理課・高田業務調整員）が参加しました。今回は関東平野北西縁断層帯主部による地震を想定した訓練です。

北関東自動車道 太田強戸 SA に参集し、東毛エリアのDMAT活動拠点本部が設置されている太田記念病院を経て、災害拠点病院である桐生厚生総合病院へ移動しました。

病院内で支援DMATとして指揮所を立ち上げ、病院災害対策本部と連携しながら入院患者や地震により受傷して搬送されて来た患者の搬送調整や他DMATと協力して搬送を行いました。その以外にも病院内で人員が不足している部門の支援も行いました。

今回の訓練を生かして、大規模地震の際は災害拠点病院として多くの患者の受け入れが出来るように病院全体で備えていきたいと思えます。また、搬送が必要な患者が多数発生する事も想定されるため、関係機関と協力してスムーズな搬送が出来るよう努めてまいります。



支援所先の病院での訓練風景

Pick up

病院名変更のお知らせ

このたび、昭和大学は、医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部を有する医系総合大学としての特性をより明確にするため、令和7年4月1日より「昭和医科大学」へ校名を変更しました。

医系総合大学であることを校名からも発信し、社会に貢献できる優れた医療人を育成する大学として更なる発展を目指してまいります。

*旧校名：昭和大学江東豊洲病院 (SHOWA University Koto Toyosu Hospital)

*現校名：昭和医科大学江東豊洲病院 (SHOWA Medical University Koto Toyosu Hospital)



ご意見・ご要望

ご意見	回答
<p>毎日 17:00 に院内に流れる BGM の曲名を教えてください。</p> 	<p>毎日17時になるチャイムは昭和医科大学の校歌になります。昭和医科大学のホームページ上で音声ファイルをダウンロードできますので、ぜひご鑑賞ください。</p>  <p>昭和医科大学の HP の URL と QR コードになります。</p> <p>https://x.gd/ZvB</p> <p>回答部署： 管理課</p>
<p>トイレを男女別にしてほしいです。便座を上げたままとか、上げずにそのままするのか、便座が汚れているときがあり、気持ち悪いです。</p> 	<p>この度はご不快な思いをさせてしまい、申し訳ございません。病棟のトイレ清掃に関しましては、個室以外平日2回、清掃作業をしています。ご指摘の「トイレ男女別設置」につきましては、ご意見を踏まえ検討事項とさせていただきます。なお、各トイレに便座クリーナーを設置していますので、ご利用ください。今回のご意見を糧とし、ご不快に感じられぬよう努めてまいります。</p> <p>回答部署： 管理課</p>

編

集

後

記

4月となり、新年度が始まりました。

2025年がスタートしてから、すでに4か月が経ち、時間の流れの速さに驚いています。

この記事を書いている現在も寒い日が続き、外の風は強く、非常に冷たく感じます。せっかくの休日ですが、この寒さに外出する気が起きず、家で温まりながら編み物に取り組んでいます。

編み物は最近始めたばかりで、初心者向けの動画や本を参考にしながら簡単な小物を作っているのですが、思った以上に難しく苦戦しています(笑)。編み物のプロである祖母にも教えてもらっているのですが、祖母の手さばきの速さには毎回感動しています。長期的な目標として、今年の冬に使えるマフラーや帽子を編むことを掲げ、ゆっくりと練習を続けていきたいと思っています。

4月は気温も徐々に温かくなり、お花見などで外出する方も増えるでしょう。手洗いやうがいなど、感染対策をしっかりと行いつつ、楽しいひとときをお過ごしいただければと思います。

臨床検査室 / みやくに ますみ 宮國 真澄



昭和医科大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>
 〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38
 TEL03-6204-6000(代表)
 発行責任者：横山 登 編集責任者：大槻 克文



昭和医科大学江東豊洲病院
ホームページ